

平成24年度臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：咀嚼補綴科

研究期間：平成23年4月から

研究課題名：

上顎骨の解剖学的形態および骨質からインプラント埋入部位を考察する

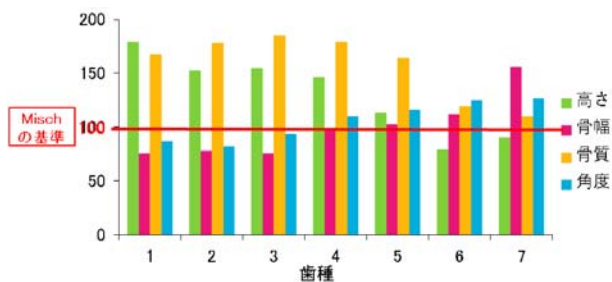
研究課題の概要及び成果：

上顎骨の解剖学的形態および骨質の点からインプラント埋入部位を検討することを目的とし、患者から得られたCT画像を元に骨形態ならびに骨質について検討を行った。

被験者はインプラント治療を希望して大阪大学歯学部附属病院に来院した上顎無歯顎患者10名とした。被験者のCTを撮影し、得られたDICOMデータをインプラント埋入シミュレーションソフトウェアに取り込み、各歯種において骨の高さ、骨幅、骨質、角度を計測した。その結果、骨の高さは臼歯部に比べて前歯部で高さが有意に高く、骨幅は臼歯部に比べて前歯部で骨幅が有意に狭く、角度は臼歯部に比べて前歯部で60度以下と有意に小さく、骨質はすべての歯種においてD3以上の骨質であったが、骨質が臼歯部に比べて前歯部および小臼歯部で有意に硬かった。Mischの基準値の値を100として表したグラフを以下に示す。

以上のことから、上顎無歯顎症例においては小臼歯部がインプラント埋入に適していることが明らかとなった。

上記概要・成果に関連する図表等



骨の高さ、骨幅、骨質、角度について Misch の基準を 100 とした各歯種の値を表す。前歯部では骨幅と角度が基準を満たしておらず、臼歯部では骨の高さが基準を満たしてなかった。小臼歯部は基準をすべて満たしていた。